

# 健康と光線

## 光の環境が健康に及ぼす影響

——もつと自然の光を——

サナモア光線協会  
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

### 光の環境

トーマス・エジソンが白熱電球（人工照明）を発明する以前は、人々は夜明けとともに起き、日暮れとともに眠り、日中は屋外で自然の太陽の光を充分に浴び、現在の私たちより健康な生活をしていたことは想像に難くありません。

これに反し、今の人々は大半を人工照明の中で暮らしています。しかるにこれほどの照明にかんする研究は、如何に安かつ効率的に光を得るかに費やされ、人工照明が健康に及ぼす影響についてはまるで無頓着でした。これは人工照明が人に害を及ぼすなどと考えた人が恐らく居なかったためでしょう。言うまでもなく、自然の太陽の光と人工照明の光では、波長

範囲をはじめかなり違います。一例をあげれば、人の目が黄緑色に最も鋭敏に反応するため、現在の白色蛍光灯は黄色と緑色を一番強く出すように作ってあります。そうすることによって四〇ワットの蛍光灯の明るさと一五〇ワットの白熱電球の明るさを同じにしたのです。

しかし自然の光が健康に大きな影響を与えることを忘れてはなりません。だからこそ光の環境を考えるとき、自然の光を取り入れなくてはならないのです。

### 人工照明でカルシウム吸収能が低下

光が生物に及ぼす影響を研究する光生物学は、人工照明の普及が私たちの健康を蝕んでいることを明らかにしました。マサチューセッツ工科大学の

発行所

〒153 東京都目黒区目黒  
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行

会費 年500円

電話 東京(03)

793-5281

712-5322

ブルツマンとマサチューセッツ総合病院のニアは、ボストン郊外の老人ホームの老人たちを二つのグループに分け、一群を太陽と同じ光を照射した室内で毎日八時間過ごさせることによって、照明方法の違いがカルシウムの吸収能力に与える影響を調べました。その結果、太陽と同じ光を浴びたグループの老人は、一ヶ月後にカルシウムの吸収能が二五%上昇したのに対し、通常の人工照明の下で過ごしたグループでは逆に二五%も低下することを明らかにしました。

### 人工照明による

#### “光ストレス”

光は視覚と皮膚と双方から、私たちの神経内分泌に影響を及ぼしますが、この点でも人工照明が問題を引き起こすことが指摘されています。

私たちの身体には太陽の光に運動する体内時計が備わっており、一定の日周期リズムがあります。毎日、規則的に体温が上下したり、体内物質が微妙に変動するのはそのためです。ところが不自然な照明は体内時計を狂わせ、ストレスの重要な原因

になっていることが突き止められました。これを“光ストレス”と呼びます。

体内時計の狂いで誰もが経験するものに、ジェット機で遠隔地に旅行したときに起こす時差ボケがあります。また光が神経内分泌機能に影響することを示す典型例として、北アメリカや

北欧の女性が、約一〇〇年前の時代と比べて数年も早く性的成熟を迎えるようになったことがあげられます。これは照明が視覚を介して性成熟を抑制するメラトニン（松果体ホルモン）の合成と分泌を抑制するためですが、長い冬の夜を人工照明の下で過ごすことが関係しています。

### もつと自然の光を

自然の光、太陽が健康に及ぼす影響は未だ研究途上にありますが、私たちは過去百万年以上、太陽によって育まれてきま

した。私たちは太陽の子であり光の霊妙な作用に依存しています。今の段階で自分の健康を自分自身で守るため最も大切なことは、毎日欠かさず太陽に当たり身体に活力を与えるように努めることです。

しかし多くの人の今の生活は、自然の光、太陽から遠ざかってしまいました。その上、今更昔の生活に戻ることが適うはずがありません。そのような人々にはサナモアが役立ちます。サナモアは強力なカーボンアークから、自然の光と同じような波長範囲の広い連続スペクトルの光線を放射します。サナモア光線の物理特性は太陽と極めて近似していますから、人工真珠をもって天然真珠に代えるようなものではないです。否、サナモアがあれば如何なる時でも自然の光を利用できるので、自然の光を利用できるのですから、むしろ便利な面があります。

## 謹告

### サナモア光線治療器価格改定ならびに仕様変更のお知らせ

平素よりサナモア光線治療器及びカーボンに対し格別のお引き立て戴き、誠に有難く厚くお礼申し上げます。サナモア光線治療器は昭和48年以来今まで15年間価格を据え置造りてまいりました。しかし、この間の製造コストの上昇は企業内の努力ではとうてい吸収しきれない限界点を越え、価格改定のやむなきに至りました。尚、価格改定に伴い、治療器に若干の改良を加え、操作面、安全面により配慮いたしました。

つきましては甚だ恐縮ではございますが、本年1月以降治療器の価格を下記のごとく改定させて頂きますが、事情ご賢察の上ご協力賜りたくお願い申し上げます。

定価 80,000円

サナモア8号器 (荷造り運賃5,000円)

定価 100,000円

サナモア7号器 (荷造り運賃6,000円)

今後、更に研究を重ね高品質の治療器及びカーボンの開発に努めてまいります。引き続きお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

(株)東京光線療法研究所



「江ノ島」

宇都宮義真撮影



## 讃光譜



### あらゆる治療とは

多少とも長患いの病人は、あらゆる治療をしたがどうも良くならないという。しかしよく話を聞いてみると、いろいろ薬を飲んだり手術をしただけである。このように薬物療法や手術療法は巷間広く行われ信頼されているが、決してこれが治療法のすべてではない。薬で痛みや熱をなくすことも、手術で悪いところを切り取ることも、必要に応じて止むを得ないとしても、しっかり養生して身体から治す努力も忘れてはならない。

### 真理は平凡である

未だ健康法の薬はない。健康のために大切なことは、鍛練、食事、日光浴など日常生活の中にある。

◇環境の四大要素は、日光と空気と水と食物である。薬や注射や手術ではない。  
◇健康の三大要素は、食って（食欲）、寝て（睡眠）、たれる（便通）ことである。どれか一つ欠けても健康でない。  
◇病気の本当の原因は、案外

生活環境や習慣にある。打診や聴診やレントゲン写真で分かるのは、原因でなく結果である。

◇絶対安静と栄養を金科玉条として、時に安逸と過食の弊に陥ることがある。

◇治療の理想は「早く、安く、気持ちよく」である。なるべくなら、薬を飲まず、手術をしないほうがよい。

◇医学の究極の理想は、無病

## 健康閑話

宇都宮 義真

長命であるう。病気の研究もさることながら、無病の研究も必要である。

### 日光恐怖症

ある大病院から来た病人の話である。そこでは日光を極端に恐れて病人が少しでも日光に当

たることを禁じ、日光の入る病室には黒いカーテンをかけるのである。病気の治療が宗教家の手に委ねられた中世紀に行われた、病人が大气に触れ日光を浴びることを禁じる習慣が今でも多少は残っているようである。何事によらず、この性質を知って巧みに利用すべきである。牛の性質を知らない人は、牛を恐ろしいという。電気は性質を知らない人は、恐ろしくて発電所に入れないかもしれない。ひどい食あたりで苦しむと、食べ物さえ恐ろしくなることがある。日光についても知らない人ほど日光を恐れるようである。

日常サナモアを愛用している人から、次のような知らせがあった。その人の76歳の厳父が化膿性炎にかかり、患部が野球のボールほどになった。早速サナモアを照射したら段々快方に向かったが、念のために医師の診察を受けたところ、「光線をかけてはいけない。患部には薬を塗って、夜昼水で冷さなければ命がない。」と言われた。しかし以前に愛児が病氣した際、医師の指示通りに水で冷やして失敗したことがあったので、水を買ったものの冷やす気になれず、光線照射を続けたら間もなく全快した。イタリアのナポリ地方に、「太陽の来ないところに医者がある。Dove non va il Sole, va il medico.」という諺がある。言うまでもないが、医者が太陽のない暗黒の世界に好んで行くのではなく、病気が太陽を嫌うという意味である。

### 太陽国全権大使

光は生命の泉であり、健康の源である。太古から人々が太陽を神として尊崇したのも、無心の植物に悉く向日性 Heliotropismus があるのも、決して偶然でない。

今世紀の初頭、スイスに日光療養所を開設し、主として外科的結核を中心に日光療法を応用し、広範な日光の恩恵を人類に紹介したロリエ博士 Dr Rollier は、太陽国全権大使 Ambassador Plenipotentiary of the Sun. と呼ばれたのである。

光なければ生命なし。

Ohne Licht, Kein Leben!

「健康と光線」

昭和25年3月1日発行

—健康閑話(1)—を引用した



皆様おはようございます。  
秋は色々行事の多い時期です。公私ともに大変ご多忙のことと在じます。その中を本日の愛用者大会にご出席くださいましたこと厚くお礼申し上げます。

これまで三十数年間、皆様のご愛顧とご鞭撻があったればこそ今日に至りました。そのご恩に万分の一なりとも報いたいと思ひ、三回目の愛用者大会を思い立ちました。振り返って、一回目の愛用者大会は昭和36年に西中洲に会場を設定し、二回目は昭和42年に洲崎の市民会館で、今は亡き宇都宮義真先生のご指導のもとに開催しました。本日東京よりご来駕くださいました光明先生のお父様でございます。古くからの愛用者の方なら憶えていくさるかもしれません。が、博識多才な、よもやまの話がお好きな人柄の先生でした。さて次に私が光線療法の道に入る切っ掛けになった私自身の病気について話をします。

昭和26年3月中旬のことです。産後、左手足の関節が腫れて痛み硬直したように動かせなくなりました。特に左手の五本の指の関節はひどく変形し、麻痺したように全然握力のない状態になったのです。あれやこれやと

手当てを受けましたが、効果のないまま二ヶ月経ちました。前途を悲観していたところに行商のおばさんがひょっこり来たのです。おばさんは私の容体があまりに悪いのに同情して、「電気治療をしてみませんか」と言ってくれたのです。私は驚き、

で持っていて全部飲み干せたのです。それからも続けて治療を受け、九日目には自分でもほぼ全快と感ぜられる域まで回復しました。私は嬉しさのあまり小踊りしたくなったことを今だに忘れません。

私はあまりの効力に驚き、



第三回 サナモア愛用者大会

前田ミサ先生母娘主催

昭和63年11月12日(土)  
於 筑紫のがみ会館

## ごあいさつ

前田光線治療所 前田 ミサ

私は繰り返して何度か何度もサナモアの偉大な効力を褒め讃えました。先生はそんな私を見て、「そんなに感心したのなら、貴女もサナモアの勉強をしてみたらどうですか。学校の教員(當時は休職中でしたが)も立派な仕事だが、人の病を治して命を承らえてあげる仕事も、この上ない仕事と思いませんか。丁度よいチャンスだから、是非やってみませんか」と熱心に薦めてくださったのです。

その頃、私は教員生活に戻ろうかと思案していた矢先でした。先生の話を聞いてから数日間は、「どうしようかな」と独り言を言いながら考えあぐみ、悩みが募る日が続いたのです。そんな或る日、思いがけなく先生がお出になり、「まだ決心はつきませんか」とおっしゃったのです。私はふっと何か変わった運命が待っているような、違った道が開けそうな、そんな気持ちで湧くのを感じていました。

その当時、先生は長崎県療術師会の会長をしていらっしゃいましたので、すべてを「一任し、先生のご尽力によって療術研修生の一員に加えて頂いたのです。入会して数ヶ月後には東京本部の宇都宮義真先生を紹介して頂き、その後はとんとん拍子に運

びました。色々勉強をし研修を受けましたが、念願の光線療法を身に付けることが出来たのです。特に宇都宮義真先生は大恩人です。お陰で昭和37年の春には国の資格試験にパスしました。

宇都宮義真先生は、「誰でも治せる病人を十人治すより、誰も治せない病人を一人だけでも治しなさい」と常におっしゃっていました。私は今日まで、その言葉を肝に銘じ、その心情で仕事をして参りました。私の治療所を訪ねられる患者さんは、終着駅のもりで来られる方が殆どのごです。治療が済んで、「お陰で楽になりました」、「歩けるようになりました」、「明日は仕事に行けそうです」と笑顔でお帰りになる時、この上もない喜びを感じる時でございます。

健康こそこの世で一番の宝です。私は皆様方の健康の相談相手として、残りの人生を意義あらしめたいと心ひそかに念じ、この道一筋に努めて参ります。今後とも、これまでに増してご愛顧くださいますと共に、ご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。本日のご挨拶と致します。ご静聴有難うございました。  
(次頁につづく)



## サナモア光線療法 体験発表

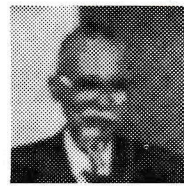
盛大に挙行された「第三回サナモア愛用者大会」の

際に、実際にサナモアを体験された方々が体験発

表をしてくださいました。ここに要旨を採録させ

て戴きました。紙面に限りがあり、全文を掲載で

きなかったことをお詫び致します。(編集者)。



☆胃潰瘍が治る

福岡市  
三小田五雄様

昭和36年に予備校経営の苦勞や睡眠不足などが重なり胃潰瘍になりました。そのため胃痙攣の発作に苦しめられ、重湯も受け付けなくなり、体重も10キロはやせました。もし入院して手術になると困るので、自宅療養していたサナモアの話を聞いたのです。早速前田先生を訪ね、一時間三十分ほど光線を照射してもらいました。気分的に良いようです。一週間位通ってから治療器を求め、自宅でも照射しました。その結果、一ヶ月で普通食になり、二ヶ月足らずで授業ができるまで回復したのです。その他に、酒を飲んで転んで鎖骨を、畑仕事で脚立と一緒に倒れて肋骨を骨折した際にも世話になりました。骨折だから痛みと内出血でどうにもなりません。家内は入院しとうるさく言いましたが、私は光線治療を続けました。そうしたら、ど

ちらも十日位で治まりました。ただ鎖骨の方は手で触ると今でも変形しているのが分かります。私は以前、胸膜炎や黄疽をやったことがあり、風邪を引き易い体質でしたが、サナモアを続けたお蔭で今は歯科医以外縁がありません。保険料を損じたような気もしますが、色々な役員を仰せ付け走り回れることを有り難いことと思っております。



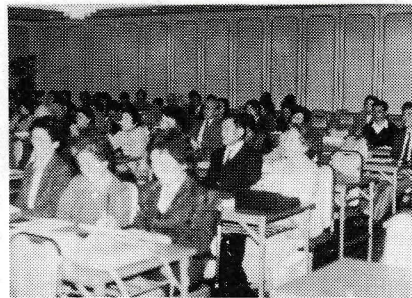
☆突然、顔がゆがむ  
(顔面神経麻痺)

大牟田市  
塚脇ミユキ様

私が初めて前田先生の光線治療を受けたのは、29年前です。突然、お吸物がかぼれて吸えなくなり、御飯もかめないので、鏡で見ると口は斜めにつり上がりゆがんでいます。あわてて診てもらったら、顔面神経麻痺と診断されました。その時に完全に良くなるか請け合えないと言われたのです。ふと光線治療で小児麻痺が良くなった話を思い出し、矢も盾もたまらず前田先生のお宅を訪ねたのです。先生は私の顔を見

るなり、「ああ顔面神経麻痺よ、完全に良くなるから心配は要らない」といとも気安く言うのです。すぐ光線治療が始まりました。

九日目の治療がすんで、それまでこぼれて飲みづらかったお茶が楽に飲めたので、その旨を先生に話すと、そろそろ効果が出る頃だと言われました。それから後は一日一日と良くなるのはつきり分かり、二十四日で完治しました。



(会場風景)

それから一にも光線、二にも光線といった具合で、ご厄介になったことを申し上げれば限りありません。86歳の今日も健康で居られるのは、光線治療のお蔭と感謝の気持ちで一杯です。



☆サナモアは我が家の必需品

嘉穂郡  
中野矩仁子様

19年ほど前のことですが、不

正出血がつづき体調がすぐれないので診察を受けたら、子宮筋腫があるから手術をしなればいけないと診断されたのです。でも私は前田先生が、「子宮筋腫も手術をしないうで治ります」と言われた言葉に勇気づけられ、主人にも協力してもらい、一心に朝夕二回の光線治療に専念しました。

治療開始から四カ月して、体調も良くなったので再び診察を受けに行きました。子宮筋腫のカケラもないのです。この間、病院には手術手術と言われるのが嫌で一度も行ってません。サナモアだけで治って、これ程の喜びは初めての経験でした。次は今年84歳になる別居している母のことです。五年ほど前になりませんが、両膝の関節炎で歩けないと言ったのではないですか。私はびっくりして直ぐに呼び寄せ、前田先生に照射法を教えてくださいました。早速治療を始めました。少くも身体を動かすと膝に響くので寝返りも出来ず、その痛さは口では表現できないと言います。私はほとんどんかけつづけてきました。その晩は久しぶりに痛みも和らぎ、良く眠れたと喜んでくれました。

そして三日目頃には人の手を借りずにトイレに行けるようになります。三カ月ほどで杖を使わず歩けるようになったのです。あきらめていた温泉旅行にも、私と妹夫婦と四人で行けました。今も元気に二本の足で歩いていきます。

最後に四年前の息子が中学2年の時のことをお話しします。急な腹痛で診察を受けたところ、盲腸炎と診断されましたが、手術の手術はしてあるから一段と痛みがひどくなったなら夜中でも連れて来るように何度も念を押されました。息子は「お母さんサナモアで治して」と一生懸命に頼みます。

早速前田先生に相談して、時間はどれだけかかっても治すんだと決心し、治療を始めました。照射し始めて一時間ほど経った頃から息子は気持ちよさそうに寝息をたて始めました。私は徹夜で丸々十五時間ぶっとうしかけてつづけたのです。

翌朝、息子はもうどこまでもないと言いますが、昨日は先生にあれ程心配をかけたのだからと言いかせ、診察に連れていきました。先生は診察しながら、「昨日はあんなに痛がっていたのに」と言いながら不思議そうに面持ちでいました。その後、は元気な日々を送っています。



☆首を前後にふる

荒尾市  
池辺敏子様

私の息子はスポーツの特待生として高校に入學し、寮生活を始めました。その初めての夏休みで帰ったときの出来事です。(五面へつづく)



## (四面よりつづく)

子供が周期的に首を前後にふり、顔つきや全体の様子も普通じゃないのです。心配で心配で前田先生のところと相談に連れて行きました。すると先生は、「交感神経と副交感神経のバランスがくずれとつけん首をふる」とい。治る治る」と私の心をなぐさすかのように言っておきました。私は照射法を習い、帰るやいなやその通りに一睡もしないでかけてやりました。何が何でも治してやらねば、この子の一生を左右すると思うと全然眠くならないのです。

一日目、二日目はかえってひどくなりましたが、ここが辛抱のしどころと思っておきました。三日目の夜、口ではよく言えませんが、「良くなる」自信を持ちました。一週間位して、首のふり方が小さくなり、間隔が長くなりました。弟も、「お母さん、お兄ちゃんが大方首をふらんようになったよ」と喜んでいました。こうして丁度一ヶ月で殆ど良くなり、学校の寮に帰り、スポーツも続けられたのです。それ以来、子供は元気で、今は社会人になっています。



☆失明の危機を免れる(眼底出血)

春日市 義次様  
納富

私と光線との付き合いは二十余年になります。その間、色

色ありましたが、忘れる事の出ないのは家内のことです。家内が昼でも夕暮れのように見えると言います。これはただ事でないとい眼科に連れて行きまして、検査の結果、眼底出血と診断され、ひと月毎に悪くなり、盲目になると宣言された時は、頭をガンと金槌で叩かれた思いで、気も動転してしまいました。

それで前田先生に相談するしかないとい家内を連れて訪ねたのです。先生に照射法を教わり、それを実行したところ段々見えるようになってきました。視力が〇・三になり、〇・四になり、医者に行く度によくなくなっていくので不思議そうでしたが、そのうちとうとう全快してしまつたのです。ところで私は四月に満80歳になりました。でもいまだに休みみですが山に登っています。これも光線のお蔭と感謝しています。「人は健康と共に若く、病氣と共に老ゆる」と言います。お互いに光線で頑張りましょう。



☆ささやかな幸せ

粕屋郡 脇山スミ子様

サナモア光線に出会って15年たちます。その頃の私は、喘息、メニエール病、慢性中耳炎、神経性難聴など有難くない病気で悩んでいました。メニエール病の目まいの発作で入院をくり返していましたが、学校の勤務

のことが気になり十分な養生も出来ません。そんな時にサナモアを紹介されたのです。最初は照射するだけとは不思議な思いで前田先生を訪ねたのですが、慢性的な首すじから肩

背中このりや、中耳炎の不快感がうすらいで行きます。それが嬉しくてせつせとかけました。でもともすると忙しさにまぎれて何日もかけないで、また目まいが来そうになってあわててサナモアに頼るといふこともあり

我が家では三月に二人目の待望の女の子の孫が誕生しました。嫁は前田先生の助言の通りに妊娠中つとめてかけていました。腰やおなか黒ずんでいました。が、お産は軽く経過もよく、母乳はたっぷり出ました。三才の孫は早くから「光線かける」と自分でコードを引っ張ってきます。



☆健康は体質改善から  
福岡市 田中勝様

昭和38年のことです。もう直ぐ幼稚園に行く次女の夜尿症を、前田先生に一週間て治してもらったのが切っ掛けになり、娘のためと思って光線治療器を購入

しました。

しかし私も七歳の時に高い石垣から飛び降りて痛めた足関節が治り切らずに、それから長年にわたって後遺症に苦しんでいましたので、痛みの都度光線療法をしていました。それでも昭和40年の春に足関節の激痛に見舞われたのです。早速前田先生のご指導を頂き、先生が指示してくださった食事療法を併用しながら、不眠不休で五日間ぶっ通しで照射しました。そうした

以来今日まで再発しませんでした。肉食中心の食事を改め、酒を断って体質を改善したからです。私の家では、捻座、風邪、頭痛、腹痛等、あらゆる病気を直ぐ光線で治療します。私も何十年と通い続けた針灸療院とオサラバしました。医者にもここ二十年かかっていません。



☆健康は毎日の積み重ね  
太宰府市 斎藤徳治郎様

知人の歯科医のN先生宅を訪問した際、先生が頭に黄白色の光を放つ大きなアルミ鍋のようなものを被って気持ち良さそうにしている光景に接しました。先生は「これは命の恩人ですよ。

実は手が震えてカルテが書けなくなり、医者も廃業しなくてはと思つていた矢先にサナモアを知り、書けるようになったのですよ」と言うのです。

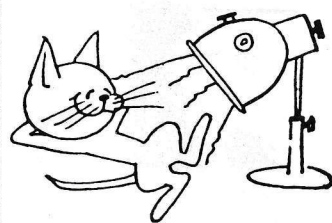
私は昭和40年と41年に尿路結石で入院し手術したのですが、病床で健康の有難さ、尊さを痛感させられました。そこで早速前田先生の家にたつてサナモアを購入し、その後は健康保持のため毎日70—80分照射しています。

妻は最初はあまり信用していませんでしたが、右手の人指し指の爪周りが赤紫色になって腫れあがり、痛くて眠れなかったのが、切開せずに10日で全快してから信者になりました。

孫も幼い時から気管支が弱く、寒くなる時風邪をひき2—3日休むので、息子夫婦の心配の種でしたが、光線療法をすると共に水泳教室で体力を付けさせるようにしたら、最近では体重、身長ともに増え、強たくましくなり、風邪にかかり難くなりました。

「健康なる身体に、健全なる精神は宿る」と言います。個人の健康があつて明るく楽しい家庭があり、良き家庭の集団があつて立派な社会が構成されます。私はサナモアの効果を体験してから、それを話し伝え、一人でも多くの人が健康になつて喜んでくれることのお手伝いをしたいと願ひしております。





## —治療例報告—

### ☆急性膀胱炎

症例 42歳 女性

症状 尿が近く(頻尿)なり、排尿に伴う痛み(排尿時痛)が起る。そのうち夜中に尿意をもよおし二、三回起きるようになったが、尿量は少なく、排尿時の痛みがだんだんひどくなる。尿は濁って(尿混濁)いた。

そのため病院を受診し尿検査を受け急性膀胱炎と診断されたが、その際に知人から光線療法の効果を聞き治療を希望して来所した。

療法経過 ADカーボンを用いて治療した。腹部、膝、足裏各5分、背、小脳(後頭部)各10分、次に側臥位になって膝を腹部に向けて大きく曲げて肛門の少し前(会陰部)に一号集光器を使って10-15分。一日二回照射。

治療を始めて三日目には、排尿の回数が減り、排尿時の痛みもとれ、五日目には尿の濁りもなくなった。

注意 急性膀胱炎のように尿路に感染を起こした場合には、十分に水分を補給し尿量を増すことが大切です。光線療法は尿の出を良くする効果がありますから、この点でも役に立ちます。また腎臓の炎症を伴うことがありますので、腎臓部への照射を忘れないようにしてください。

神戸市 ウエノ光線療法 上野 貞氏報告

TEL078-3921-8303

### ☆肺ガンの術後管理

症例 48歳 男性

症状 患者は八年前に肺ガンのために入院し、手術を受けた。当院へは退院した直後から今日まで、光線療法による術後管理の相談を兼ねて定期的に来院しているが、日常は指示に基づいて自宅で治療を続けている。なお患者にはガンは告知されていない。

初診時の主な訴えは、手術後も時々咳が出て、咳き込むと息苦しく、ひどい体力の衰えを感じ、働くことに全く自信がないことなどであった。家族は、一般状態の回復と、出来るものならガンの転移を防ぎ、多少でも延命効果のあがることを期待していた。

療法経過 最初に来院した時は退院してから日が浅く、体力の衰えも目立ったので、まず一般的なAカーボンを使用した。照射部位ならびに時間は、尻(肛門)10分、顔5分、喉5分、腹10分、腰5分、足裏10分、背中5分、腋の下左右各5分、肩左

### 「愛用三者」だより

#### ☆姑の症状が 快方に

千葉市 秋山邦雄

サナモア8号器を使用させて頂いて一ヶ月が過ぎました。長期病床の姑の治療に効果がでていく様です。

床ずれ防止に最適のようです。すし、腹水なども効果があり、便通と便質の良くなったのは驚きます。タール状の血便が出っぱなしの状態だったのがサナモアをはじめてわずか

#### ☆サナモアの ところこに...

帯広市古頭治療院 古頭正章

治療院という仕事についてもう30年近くになりますが、サナモアは治療院の歴史その

### サナモアカーボンの 類似品にご注意下さい

サナモアA、B、C、Dカーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともども愛用者各位の御信頼を頂き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことは、皆様方よくご存知の通りであります。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、サナモアABCと効果が同じという根拠もないような文句で互換表を添付して販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる行為をする者が何時の世にもいますが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任はもてませんので異々もご注意ください。

(サナモアカーボンには、製造元イビデン株式会社の商標「B」のマークが必ずついています)

東京光線療法研究所

右各5分、脇腹左右各5分、膝の横左右各5分、毎日一回を基本としたが、このような症例の場合、転移を起こし易い部位を含めて全身に照射する必要があります。

しかたっていないのに、今では普通便が日に二回位、痛みもあり訴えなくなり、何よりも顔色が良くなったのにはただただ感謝の気持ちで一杯です。85歳という高齢ですので完治というわけには行かないかも知れませんが、確かに効果は出ております。有難うございます。

又、患者さんにも使いだすうちに大変喜ばれ、効果も確かなことからサナモアのトリコになった次第です。病氣によって治療方法も違いますが、更に研究を積みかさねその結果をご報告したいと思っております。

末長く使って行きたいと思えますのでよろしくお願いいたします。

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL044-721-5069



# サナモアによる股関節障害の治療について

山口県 井川カイロプラク  
ティック光線療法研究所

井川 豊信

先にサナモアによる肩関節障害の治療(本紙二四二号)ならびに膝関節障害の治療(本紙二四八号)について記述したが、今回は関連域として股関節の障害について述べ、併せて自験例の治療成績を報告する。

## 股関節の構造と機能

股関節に起こる障害を理解するには、股関節の構造と機能の概要を知る必要があるが、一般に素人無関心な人が多いのに驚く。

股関節は図Aに示したように、骨盤の寛骨臼(腸骨、坐骨および恥骨よりなり、半球状に凹み、その内部に半月状の関節面がある)と大腿骨の骨頭がつくる関節であるが、その特徴は寛骨臼が極めて深く、大腿骨頭の大部分がはまっていることである。

そのため肩関節と同じように関節が球形であっても、運動範囲は制限され著しく狭い。

この股関節は歩行の際に二分された体重負荷を受ける関節である。従って常に大きな負担に

さらされる関節であるが、平素はあたかも電球とソケットのように構造的には比較的安定しているため無関心になるのも無理からぬことかもしれない。

しかし先天性、後天性を問わず、股関節にかかる左右の負担のバランスに一度乱れを生ずれば、股関節の炎症や変形を起こすだけでなく、関連域の腰、膝、足関節にも障害を引き起こし痛みが波及するから決して油断してはならない。その上、治療が遅れて変形が進行すると全治は期待できず、手術が避けられない。これが早急かつ適切な治療が望まれる由縁である。



図A 正常股関節

## 股関節疾患の治療例

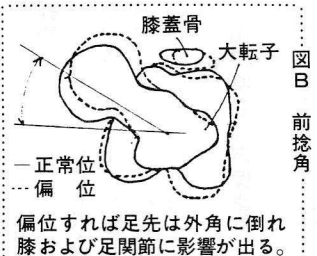
次に股関節にかかる負荷のアンバランスが原因で股関節に障害を起こした二症例の治療経過の概要を報告する。

### 第一例 股関節亜脱臼

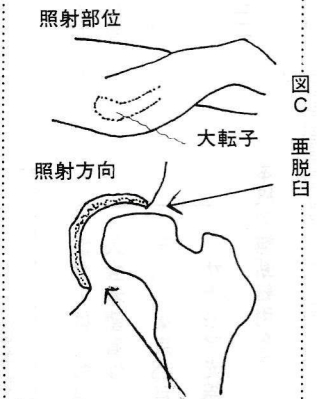
症例 50歳の主婦

本例は足関節の捻挫が原因で「股関節亜脱臼」を起こしたもので、「下(足関節)」で起こした障害が「上(股関節)」に波及した例である。

起始経過 昭和六〇年九月に足関節を捻挫し整形外科で治療したが、その一ヶ月後から股関節に痛みがでた。そのため同年一二月から再度整形外科に通院して三ヶ月間治療するも股関節痛がやまぬ。そこで昭和六一年三月に別のクリニックに変わり約六ヶ月間治療を受けた。この間、同年の四月から整形外科にも一年間通院したが症状は軽減せず、むしろ段々に悪化した。そのため昭和六二年四月に改め



図B 前捻角



図C 亜脱臼

て別の整形外科で診察を受けたら、手術が必要と診断された。当所へは昭和六二年五月に始めて来院したが、股関節の激痛のため自力歩行は困難で、ご主人が付き添って支えられて来た。

治療経過 触診するに大腿骨頭の前捻角は正常より著しく偏位し(図B)、加えて筋肉や靱帯は甚だしく硬直していたため、取り敢えずカーボンABを組み合わせて使用し、痛みを軽減し硬直を改善することとした。

照射部位は仙骨10分、大腿骨頭の頸体角を考慮してその進入角度にそって一〇分(図C)、臼蓋嘴の炎症を考えその位置に対して一〇分(図C)である。その上で骨頭の偏位を正常位に近づけるように処置したところ、完全に痛みが和わぎ、自力で帰路につかれた状態まで回復した。

それ以後、骨頭の摩擦を防ぎ、筋肉、靱帯の硬直を緩め、歩行を容易にするため、サナモアを求めて毎日光線療法をした結果、現在は股関節の痛みがとれ

歩行の状態にも殆ど左右差はない。来院も隔週毎で、自動車の運転をしてご主人の仕事を手助けられ、サナモアに感謝しながら快調な日々を過ごしている。

### 第一例に対する考察

大腿骨頭が亜脱臼を起こすと、骨頭上方に常時作用する「関節反力」のバランスが崩れるため、次第に骨頭や臼蓋嘴の損傷摩擦の範囲が広がり、引いては骨梁の吸収に及ぶ。その結果、転んだりつまづいたりして簡単に骨折したり、骨頭の壊死を起こす。本例は股関節障害だけでなく、当該股関節をかばうため、膝関節にも傾きによる炎症がはじめていた。また左右の大腿の太さや筋力にも差があったが、連日サナモア光線の照射を徹底して行ったのが好結果につながったと考えられた。

### 第二例 変形性股関節症

症例 来所時小学校六年の女児(現在高校生)。

本例は仙腸関節(仙骨と腸骨がつくる関節)の歪みが原因で「変形性股関節症」を起こしたと考えられ、障害が「上(仙腸関節)」から「下(股関節)」に及んだものである。

起始ならびに治療経過 患者の母親から頂いた礼状の要旨を以下に紹介する。

「小学校の六年の春に、右足(八面へつづく)」



## (七面よりつづく)

の股関節に時々痛みがあり、足の長さが違い、歩き方が少しおかしいため、病院の診察を受けさせたところ変形性股関節症と診断されました。その上、今すぐに手術をするか、もっと痛みが出てから手術をするかと言われ、目の前が真っ暗になりました。親子共々思案に暮れる毎日でした。

そんな折りに姉のすすめで神にもすがる思いで先生に診て頂いたのです。先生の治療を受け、帰途の足取りの軽かったことを今でもはっきり憶えています。それ以来、毎週治療をして頂き、

昭和六〇年より光線を指示に従って毎日使用しました。先生のお陰で、前は水泳しか出来なかった学校の体育も、現在では殆どが出来るようになり、足の長さも、左右の太さも変わらぬまでに成長しました。サナモアに心より感謝致しております。」

## 第二例に対する考察

仙腸関節に歪みがあると股関節の不適合を起し、また神経を圧迫して血液の循環を悪くする。そのため股関節に痛みを起し、患側下肢は短縮し、次第に大腿の筋力も低下し細くなるのが通例である。本例の初診時の状態は、右足は左足より三センチ短く、且つ大腿周囲は約二センチ五ミリ細く、歩行に際してびっこ(跛行)を引いていた。また骨盤を右に捻った状態(右

前転、左後下転)が長期に続いたため、左股関節にも悪影響が出始めていた。そのため左右の下肢のバランスがくずれ、痛みは股関節ばかりでなく、足首、膝、肩、首にまで及んでいた。光線療法はこのような症例に大いに威力を発揮する。照射法は第一例と同じ要領で、仙骨部、骨頭部に行い、筋肉の硬直を緩める必要がある。また反対側の股関節部にも照射する方が予後が良い。なお膝の屈伸運動、時として足関節のテーピングの実施等によって良好な状態の維持に努めることが大切である。

## 結語

以前、手術のため入院することになった患者から相談を受けたことがある。患者は左股関節の痛みがとれないため四つの病院を転々としたあげく、最後の病院で即日入院を命じられ、必要な荷物を取りに帰る途中来所した。来所したのは金曜日であったが、患者が言うには翌週の火曜日に手術が決まったとのことであった。

早速診たところ左足が二・五センチも長く、仙腸関節からのアライメントの不整があり、重力が左股関節に集中して痛みが出たと判断した。患者から懇願されてそれを正して光線を照射したら嘘のように痛みがなくなった。歩行も異常がなくなり大喜びで帰ったが、帰り際に一手

術については病院でよく相談しなさい」とのみ付け加えておいた。

その一週間後に、手術を免れて無事元気に退院したとの連絡があった。これも負荷をとり血液の循環を促進した結果であり、この際に光線の果たした役割は実に大きかったと確信している。股関節障害で最も憂慮すべきことは股関節の不適合である。もしその状態が放置されると、

(一) 疼痛、炎症、腫大等の一般症状の悪化  
(二) 骨の部分的な硬化(贅骨形成)

(三) 骨嚢胞の形成  
(四) 骨頭の変形や壊死

(五) 骨梁の吸収による骨質の脆弱化ならびに病的骨折

などを起す。従って治療の重点は、可及的速やかに関節の不適合を治し、前記変化の進行悪化を防ぐことである。それには局所の所見を注意深く観察し、  
(一) 左右のアライメントを正し、免荷の手段を講ずる  
(二) 血液の循環を良くし、神経的障害を除く

ことである。もしもひどい変形を起すと治すのが難しくなるので、手術に至らない水際で食い止める努力をすべきことを述べて結語としたい。

山口県岩国市保津町一三二

一六

TEL 0827 (38) 0151

サナモア



Senamora

サナモア光線協会

趣意書

天地創造の昔から、真の光、即ち太陽光線は、私たちに限らない恩恵を与えています。サナモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従って、目に見える可視光線だけでなく、目には見えないが無くてはならない紫外線や赤外線を目的に応じて適切に放射しなければなりません。

このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙普及活動を行うためサナモア光線協会を設立しました。サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 七九三—五二八—  
(七二—五三三二)

(本紙の無断転用を禁止します。)